

桜台小学校 食に関する指導の全体計画(令和8年度)

【児童の実態】

・給食で苦手な食べ物がある児童…71.5%

・特に苦手なもの
豆 …25.6%
野菜…25%
魚 …19.7%

・給食に出たときの対処法
全く食べない…5.6%
一口は食べる…33%

【保護者・地域の実態】

・整備された閑静な住宅地の中にあり、学区内に農耕地がない。

学 校 教 育 目 標

自分の思いや願いを実現させていこうとする子
「児童、教職員、地域住民など、そこに关わるすべての人が、共に学び合い高め合う学校づくり」

知)学力を獲得した知識のみの枠に留めるのではなく、自ら学ぶための意欲と能力を加味した指導を实践します。
徳)自分自身を知り、個性を認め合い、考えを尊重し合い、互いに共存していこうとする態度を育てます。
体)多様な動機付けのもと、食育と体育の両輪による健全な身体の育成と体力向上を目指します。
公)発達段階に応じた探究・創造などの体験活動を重視し、「自分たちがつくる社会」について考える姿勢を育てます。
関)コミュニケーションを通して人と関わりつなげていくために、自分から挨拶する態度を育てます。

食育の視点

○食事の重要性
○心身の健康
○食品を選択する力
○感謝の心
○社会性
○食文化

食に関する指導の目標

〈知識・技能〉
・望ましい栄養や食事のとり方や、手洗いやよい姿勢・和やかな雰囲気づくりなどの食事の基本を理解し、健全な食生活を送るための技能を身に付けている。

〈思考力・判断力・表現力等〉
・正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断したりして食品の適切な選択ができる。

〈学びに向かう力・人間性等〉
・食に興味・関心をもって自ら健康的な食生活を実現しようとしたり、食に関わる多くの人々に対して感謝の気持ちをもったりする態度を身に付けている。
・協力して準備や片付けを行うことや食事のマナーを身に付けることの大切さを理解し、食を通してコミュニケーションを図ろうとしている。

各学年の食に関する指導の目標		
1・2年	3・4年	5・6年
・食べ物に興味・関心を持ち、好き嫌いせずに食べることの大切さを考えることができる。	・日常の食事に興味・関心を持ち、様々な食べ物を好き嫌いせずに3食規則正しく食べようとするができる。	・体に必要な栄養素の種類と働きがわかり、食品をバランスよく組み合わせて簡単な献立をたてることができる。
・いろいろな食べ物や料理の名前がわかる。	・協力したりマナーを考えたりすることが楽しい会食につながることを理解し、実践することができる。	・マナーを考え、会話を楽しみながら気持ちよく会食することができる。
・楽しく会食することができる。		

中学校・ブロック

食育推進組織

・委員長:○校長
・委員 :○副校長
教務主任 児童支援専任 養護教諭 栄養教諭 食育部

食に関する指導

教科等における食に関する指導 : 関連する教科等において食に関する視点を位置付けて指導
社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等

給食時間における食に関する指導 : 食に関する指導:献立を通してマナーや食文化、栄養や食品の知識等の指導、教科等で学習したことの確認 等
給食指導 : 準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

個別的な相談指導 : 食物アレルギー・疾患、肥満・やせ傾向、偏食 等

地場産物の活用

・JA横浜と連携し地場産物を使用した献立の実施
・地場産物についてばくばくだよりや校内放送による給食時の指導
・各教科等の学習や体験活動と関連させた活用

家庭・地域との連携

・積極的な情報発信(学校だより、給食だより、保健だより、ホームページ 等)
・家庭・地域との関わり(学校保健委員会、給食試食会、地域コーディネーターとの連携、家庭科ボランティア 等)

食育推進の評価

・栄養職員と協力した教科における食に関する指導回数(年間)…【結果 回】